

鹿児島学習定着度調査結果について(リーフレット版)

本調査において、昨年度と同程度の結果となったことは、学習指導要領が求める資質・能力を意識した授業改善等が行われつつあると捉えることができます。各学校及び教員においては、目の前の児童生徒一人一人が、どの問題がなぜできなかったのか、また、どの部分でつまづいたのかをしっかりと把握し、どのような授業を行えばよかったのか、そして今後どのような授業を行うべきなのかを振り返ることが重要です。

このリーフレット版では、自校の結果を書き入れることで、各教科における県の全体通過率との比較や、課題となっている設問との比較ができるように作られています。また、二次元コードからは、各教科の解説動画を視聴することができます。職員研修等で視聴し、授業改善に役立ててください。



県の平均通過率と自校の結果

	国語	社会	数学	理科	英語
自校の結果(中1)					
県平均(中1)	70.4	68.4	70.9	63.2	75.7
自校の結果(中2)					
県平均(中2)	71.0	55.2	72.5	62.5	67.8

国語

【課題が見られた問題の概要】

設問番号 中2 4 2 全体版 P28

異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること

県平均	自校
58.9	

ポイント

- 討論を行う授業等では、討論を行う上で、必要だと思われる情報を複数集めましょう。
- 複数集めた情報を、小グループで検討し、どのようなことが集めた情報から言えそうか話し合しましょう。

社会

【課題が見られた問題の概要】

設問番号 中2 5 (3) 全体版 P36

豊臣秀吉のキリスト教への対応について、資料を基に説明すること

県平均	自校
34.2	

ポイント

- キリスト教の取扱いがどのように変化したか、原因、理由、背景等を考えさせ、流れて理解させましょう。
- 資料やグラフの読み取りについても、普段の授業から取り扱しましょう。

数学

【課題が見られた問題の概要】

設問番号 中1 5 2 全体版 P39

規則性に気付き、文字式を用いて表現すること

県平均	自校
29.2	

ポイント

- 生徒が表した式がどのような考えからつくられたものかを読み取る活動を取り入れましょう。
- 与えられた条件を一部変更して問題をつくるなど、発展的に考察する活動を取り入れましょう。

理科

【課題が見られた問題の概要】

設問番号 中1 8 (3) 全体版 P45

地層観察から分かる情報を正しく分析・解釈すること

県平均	自校
43.0	

ポイント

- 考察場面では、本当にその結果から言えることは何かという視点で話し合い、深めていくことが大切です。
- 単元の中で探究の過程を振り返ることができ、時間を設定していくことが求められています。

英語

【課題が見られた問題の概要】

設問番号 中2大問 12 全体版 P〇〇

与えられたテーマについて、情報を整理して書いたり、構成を考えて書いたり、文と文のつながりを示す語句を用いて書いたりすること

県平均	自校
25.0	

ポイント

- 言語材料は場面や文脈の中で導入し「使い方」も理解させましょう。
- 例文を示しすぎずに使わせましょう。
- 指導した単元以降の単元で使わせる際の指導を工夫しましょう。
- フィードバックを工夫し正確性を上げましょう。

児童生徒質問紙及び学校質問紙について

全体版 P6

- 児童生徒が「授業がよく分かる」と回答する割合が小学校で4～5割、中学校で2～3割にとどまることや、「主体的・対話的で深い学び」に向けた指導方法に関する調査項目では、学年が上がるにつれて課題が見られることなどが分かります。
- こういった課題を解決するためには、「個別最適な学び」と「協働的な学び」が行われる必要があり、その前提にあるのは、「学習者主体の学び」であると考えられます。
- こうした「学習者主体の学び」を支える上で特に重要である「学びに向かう力、人間性等」について、調査対象学年は異なりますが、約1年前の全国学力・学習状況調査時の数値を上回りました。
- 各学校等において行われつつある非認知能力の育成を図るための各種取組を充実させることで、「学びに向かう力、人間性等」を更に育てていきたいと思います。